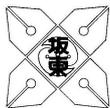


令和6年度

伊勢崎市立坂東小学校



学校通信

ばんどうたろう

坂東太郎



第 35号

令和6年12月24日(火)発行

校長 関根 崇史

【児童の皆さんへ】二学期を振り返って

今年度の授業日数は、一学期71日、二学期77日、三学期53日（6年生は51日）となっています。一番授業日数の多い二学期ですが、本当にあつという間に感じました。皆さんはどうだったでしょうか？ 二学期は、修学旅行、社会科見学、校外学習、運動会、持久走大会等々、数多くの行事がありました。これらの行事や普段の授業の様子から、皆さんが着実に成長してきていることがよく分かりました。そして、ものすごいスピードでいろいろなことを吸収し、心も体も大きく変化していく皆さんの姿から、自分も頑張ろうという元気をたくさんもらいました。本当に感謝をしています。

さて、一学期始業式、入学式、一学期終業式、二学期始業式と、ずっと同じお願いをしてきました。覚えているでしょうか？ 「元気にあいさつをしよう」「思いやりをもって人と接しよう」「大切な命を守ろう」の3つです。二学期が終わろうとしている今、一学期同様、この3つを校長先生なりに100点満点で採点してみます。

元気にあいさつをしよう 90点↑

一学期は80点でしたので、10点アップです。今学期も、毎朝校門のところに立ち、交通安全の確認をしながら、登校してくる皆さんのあいさつを交わすようにしてきました。1対1であれば、あいさつをしたら必ず返ってくるようになりました。全員とあいさつが行き交うようになったら90点と考えていたので、これは達成できたかなと思います。けれども、自分からあいさつをしてくれる人は、まだまだ少ないです。また、人がたくさんいる中だと、あいさつをしないで通り過ぎて行ってしまう人もいます。全員が自分から進んであいさつができるようになったら100点です。三学期は、「爽やかなあいさつが、誰からも響き渡る坂東小学校」を実現させていきましょう。

思いやりをもって人と接しよう 70点→

これは一学期と変わらずで、残念ながら現状維持です。「悪口を言われてつらい気持ちになった」「イヤがることをされて傷ついた」「ちょっとしたことでぶたれた、蹴られた」などということが、一学期と同じくらいありました。また、人に対してだけでなく、校内のものにいたずらをしたり、落書きをしたりといったこともありました。誰かが不愉快な気持ちになる行動は、思いやりに欠ける行動です。言葉にしたり、行動に移す前に「こんなことをしたら相手はイヤな思いをしないだろうか」「迷惑にならないだろうか」と想像する習慣を身に付けてください。つらい思いをする人が少なくなれば80点、いなくなれば90点、誰もが相手の立場に立って物事を考え、周りの人を笑顔にできれば100点です。三学期こそ、「いじめのない、誰もが笑顔で気持ちよく生活できる坂東小学校」を実現させていきましょう。

大切な命を守ろう 95点↑

登下校中の交通事故は一件もなく、100点といたいところですが、一学期から5点アップの95点とします。大きな事故は、ありませんでしたが、校内で、または登下校中にヒヤッとするような場面を見かけることが何度かありました。また、地域の方から、小学生の交通マナーが悪いという指摘を受けることもありました。一人一人が「自分の命は自分で守る」という強い気持ちを持ち、大きな事故やケガをなくするのはもちろんのこと、事故につながる可能性のある行動を少なくすることができれば100点です。三学期も「事故やケガがなく、いつでもみんなの笑顔がそろそろ坂東小学校」であり続けられるよう願っています。



明日から13日間の冬休みに入ります。規則正しい生活を心がけ、充実した休みを過ごしてください。そして何より、安全を心がけ、1月7日の始業式、ここにいる全員が無事に、元気な顔がそろそろことを心から願っています。